

強いとは

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

おはようございます。

本日も心のあり方についてお話をさせていただきます。

武道を学ぶ上で大事な考え方が3つあるとお伝えしております。

今日はその内の一つ、強いとはどういうことなのかという考え方についてお伝えしたいと思います。

今戦争が行われています。ロシアとウクライナの間で争いが起きています。

ここでご質問させていただきたいのがどちらが強いですか？

この答えはあなたが持っている強いとはどういうことかという考え方によって決まります。

強いとはどういうことかという、強いとは”あるべき姿でいること”です。

私たちが知りえる情報はあくまでも表面的なものであったり、片側一方の主張であったりと偏りが必ずあるものです。なのであくまでも見えている部分で判断をすると、力を持ったロシアがウクライナに自分たちの言うことを聞きなさいと強要している様に見えます。

これは”あるべき姿”でしょうか？

私にはあるべき姿ではないように思えます。よってロシアは”弱い”ということです。

次に強さとは何なのかということを考えてみます。

強いかが問われるのは物事が上手くいかない時です。上手くいっている時は上手くいっているのですから問題になりません。

今回の戦争についてあくまでも私たちが知りえる情報から察するに、お互いの交渉が上手くいかず、ロシアが武力をもってウクライナに言う通りにしなさいとしています。

これがどういうことかという、ロシアは自分が悪くない、悪いのは相手だ、としています。ここから弱さが何なのかが見えてきます。弱さとは”自分”です。

上手くいかない時にこの”自分”を大事にしてしまうとあるべき姿から遠ざかっていきます。自分ではなく、相手を変えようとします。

日常においてもこれはよくあることです。相手が気に入らないからといって自分の周りの人にも同じように相手を悪く見るように仕向ける、これを悪口と言いますね。

今回の戦争にしても、日常の悪口にしても、ものの本質は変わりません。思い通りに行かない憤りを相手を変えることで解決しようとしているという事です。

一方のウクライナを見てみましょう。彼らは何のために戦っているのかというと、テレビのインタビューを見る限りでは、平和のため、祖国のため、家族のために戦っていると答えています。このことを見ていると何が強さなのかが見えてきます。

弱さが”自分”に対して、強さとは人それぞれですが”自分以外の何か”であることは間違いないでしょう。強さとは何があなたを強くするのかということです。それは大切な人であったり、大切にしている考え方であったり、色々考えられます。

ここまでのお話から今日一番お伝えしたいことは、強くなるために相手を大事にしようねということです。

ここで日常で心がけることが出来る習慣があります。

それは”感謝”と”敬意”です。

日ごろからありがとうを言っていたり、礼儀を大切にしていたりとしている方もみえるかと思いますが、一日の中でありがとうと思える機会は1回でも多い方が良いです。そのようになるためのものの見方を紹介します。

先ほど強さと弱さの両方を考えることである程度理解が出来たかと思いますが、今回は感謝の反対も考えたいと思います。

感謝の対義語は？というとなげなどが考えられます。これは言葉の上での話であって、思考の上では別の考え方が必要です。ここでは感謝の反対を”当たり前”と考えてください。

例えば子供たちは今日朝ご飯を食べたと思いますが、朝ご飯が用意されることは当たり前でしょうか？

今日試合会場まで両親に送ってもらったと思いますが、それは当たり前でしょうか？

大会があることは？皆さんと競い合えることは？

皆さん恐らく”当たり前”になっていると思います。それが悪いとは言いません。人間とはそういうものですので、普通というだけです。

皆さんは気付かないうちに色々なもの、色々なことをいただいています。それに気付かないだけです。

自分が如何に色々といただいているかを気付くために、この”感謝”の反対は”当たり前

前” というものの見方をしてはいかがかと思います。

感謝する機会とは実は多くあり、それに気付かないだけです。

人間の心は一日一日の積み重ねによって作られていきます。一日一日の心への働きかけは非常に微々たるものです。しかしそれが10年ほどかけて確実に作られていきます。いくら組手が強くなろうと感謝や敬意の無い者が人として強くなることはあり得ません。何気ない日々の習慣こそ大切にしてみてください。

今日お伝えしたことは、”強い”とは”あるべき姿でいること”、そして強くなるには相手を大事にすることです。

以上です。ありがとうございました。

2022年3月20日

第25回岐阜県テコンドー選手権大会にて